

令和元年 11 月 20 日
独立行政法人国立科学博物館

報道関係各位

企画展「電子楽器 100 年展」

開催ならびにプレス内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：林 良博）では、企画展「電子楽器 100 年展」を開催いたします。本企画展は、電子楽器のこれまでの歴史的変遷を辿るだけでなく、展示・音・映像・トークショーなどを通じて、電子楽器を科学的かつ芸術的な視点で体験できることが特徴です。

つきましては、12 月 2 日（月）15：00 からプレス内覧会を開催いたします。

ぜひ、この機会にご臨席いただき、広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

企画展「電子楽器 100 年展」

【開催期間】2019（令和元）年 12 月 3 日（火）～12 月 15 日（日）

【会場】国立科学博物館日本館地下 1 階多目的室 ほか（東京都台東区上野公園 7-20）

【主催】国立科学博物館、公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

【協力】東京藝術大学音楽学部、宝塚市、手塚プロダクション、一般社団法人 全国楽器協会、一般社団法人 音楽電子事業協会、国内楽器メーカー各社

企画展「電子楽器 100 年展」プレス内覧会

【開催期間】2019（令和元）年 12 月 2 日（月）15:00～16:00 （受付開始 14:30～）

【会場】国立科学博物館日本館 2 階講堂 ほか（東京都台東区上野公園 7-20）

※国立科学博物館 事務棟入口 ※通用門からお入りください。

【問合せ先】独立行政法人国立科学博物館

科学系博物館イノベーションセンター

中島、小川

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9158

FAX：03-5814-9899

E-mail: i-exhibit@kahaku.go.jp



わくわくする未来が聞こえてくる

電子楽器 100年展

THE CENTENNIAL OF THE ELECTRONIC MUSICAL INSTRUMENTS

2019年 12月3日(火)～12月15日(日)

国立科学博物館 東京・上野公園

開館時間 午前9時～午後5時(金・土曜は午後8時まで) ※入場は各開館時刻の30分前まで
※開館時間や休館日等は変更になる場合があります。公式サイト等で確認ください。

休館日 12月9日(月) 料金 常設展示入館料のみでご覧いただけます。一般・大学生: 630円(団体: 510円) 高校生以下および65歳以上: 無料

主催: 国立科学博物館、公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

協力: 東京藝術大学音楽学部、宝塚市、手塚プロダクション、一般社団法人 全国楽器協会、一般社団法人 音楽電子事業協会、国内楽器メーカー各社



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

世界初の電子楽器と言われる
テルミンの発明から100年。
電子楽器の発展の歴史を、
貴重な展示品やコンサートで。
そして最新のサウンド、
映像やトークショーを通じて、
電子楽器の過去、現在を体感できる
「電子楽器100年展」。

電子楽器テーマ展示“セネステシア”

国立科学博物館 日本館1階 中央ホール

■12月3日(火)～12月8日(日)

テーマ展示となる中央ホールでは、大理石に囲まれた吹き抜けの空間で、音と映像と光による電子楽器の創造性を体感（セネステシア）しよう。富田勲のシンセサイザーの数々の名作を立体的な音と映像で体感。さらにボーカロイドや最新のユニークな電子楽器を特別なデモ空間で楽しもう。



展示イメージ

企画展示“電子楽器の偉人たち”

国立科学博物館 日本館地下1階 多目的室

■12月3日(火)～12月15日(日)

世界初と言われる電子楽器を発明したレフ・テルミン博士。電子楽器を積極的に作品に取り入れ音楽に新境地を切り開いた富田勲。“INNOVATOR”と海外で称され電子楽器の開発に生涯を捧げた梯郁太郎。電子楽器の偉人たちのヒストリーとその功績を数々の展示品で確かめよう。



展示イメージ



レフ・テルミン
1896～1993



富田 勲
1932～2016



梯 郁太郎
1930～2017

電子楽器プレシャス・コンサート

東京藝術大学 上野キャンパス 第6ホール

事前申込

■12月6日(金) 開場 17:45 開演 18:30～20:30

東京藝術大学の演奏者による電子音楽、そして世界で初めてと言われるテルミン奏者達によるアンサンブル。シンセサイザーの元祖と言われる貴重な楽器「オンド・マルトノ」。東京藝術大学内の特別な木質の音響空間で体験する、貴重な電子音楽コンサート。また藝大秘蔵の世界的にも珍しいモジュラー・シンセサイザーの数々の展示も電子楽器ファンには必見。

出演：

1部 〈東京藝術大学〉 後藤 英 / 満 潔 / 顧 昊倫
鈴木俊哉 (リコーダー)

2部 竹内正実 (テルミン)、
Mable and Da (マトリョミン・アンサンブル)
大矢素子 (オンド・マルトノ) / 安田結衣子 (ピアノ)

定員：150名 (小学生以上 (小学生は保護者同伴))

※最大4名様のお申込が可能



竹内 正実



Mable and Da



大矢 素子



電子楽器の体験セミナー

国立科学博物館 日本館 2 階 講堂

事前申込

ふしぎな楽器「テルミン」 こども体験セミナー

世界で初めての電子楽器といわれているテルミンを体験しよう。かわいいマトリョーシカ型のテルミンで、演奏を楽しんでみよう！

■ 12月7日(土)

第1 回目 13:30開場 14:00~15:00

第2 回目 15:30開場 16:00~17:00



講師：テルミニスト 竹内正実
テルミン講師
定員（対象）：小学生 各回 25 名
※但し小学生 1 名参加に付き
保護者 1 名が必ず同伴

「オンド・マルトノ」が わかるセミナー

シンセサイザーの元祖とも言われる
オンド・マルトノのセミナー

■ 12月8日(日)

12:30開場 13:00~14:00

講師：オンド・マルトノ奏者 大矢素子
定員（対象）：100 名（小学生以上（小学生は保護者同伴））



© Hirotada Onaka

「シンセサイザーで音をつくってみよう」 ワークショップ

電気や音楽の知識がなくてもリトルビット little Bits
でシンセサイザーをつくろう！みんながつくったシン
セサイザーでいろんな音づくりにチャレンジ！

■ 12月8日(日)

14:45 開場 15:00~16:30

協力：littleBits × KORG
定員（対象）：小学生 20 名（小学 3 年生以上）
※但し小学生 1 名参加に付き保護者 1 名が必ず同伴



littleBits

「オサムとムサシ」上映会

国立科学博物館 日本館 2 階 講堂

事前申込

宝塚市の手塚治虫記念館でしか観られない「オサムとムサシ」
手塚プロダクションと音楽家 富田勲コラボによる名作アニメの 1 日限りの上映会

■ 12月14日(土)

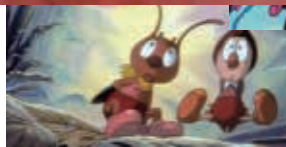
第 1 回目 10:00 開場 10:30 上映 第 2 回目 12:00 開場 12:30 上映

第 3 回目 14:00 開場 14:30 上映 第 4 回目 16:00 開場 16:30 上映

（各回完全入れ替え制、上映時間約 20 分）

定員（対象）：各回 150 名（小学生以上（小学生は保護者同伴））

※最大 2 名様のお申込が可能



「オサムとムサシ」スペシャル・トークセッション

国立科学博物館 日本館 2 階 講堂

事前申込

■ 12月14日(土)

開場 17:30 開演 18:00（アニメ上映を含む約 90 分間）

手塚プロダクションと音楽家 富田勲コラボによる「オサムとムサシ」

3 人のスペシャリストがこの名作について語る特別プログラム

出演者：

千住明（音楽家）／手塚眞（ビジュアルリスト）／福岡伸一（生物学者）

定員（対象）：150 名（小学生以上（小学生は保護者同伴））

※最大 2 名様のお申込が可能



千住 明



手塚 眞



福岡 伸一

電子楽器セミナー

国立科学博物館 日本館 2 階 講堂

事前申込

Part.1 「松武秀樹のシンセサイザー・ストーリー」

4 人目の YMO と呼ばれたシンセサイザーの第一人者、
松武秀樹が語るシンセサイザー

■ 12月15日(日)

開場 13:00 開演 13:30（約 60 分間を予定）

講師：松武秀樹

進行：国立科学博物館 産業技術史資料情報センター
北口 二郎

定員（対象）：100 名（中学生以上）



松武 秀樹

Part.2 「MIDI の現在と未来がわかるセミナー」

1983 年に提唱された「MIDI 規格」が 36 年ぶりに
アップデート。現在の MIDI や最新の「MIDI 2.0」
を専門のエンジニアが音と映像で詳しく解説

■ 12月15日(日)

開始 15:00（約 90 分間を予定）

講師：一般社団法人 音楽電子事業協会 MIDI 企画委員会

定員（対象）：100 名（中学生以上）

MIDI

事前お申し込みは
こちらから



定員に達している場合は
ご容赦ください

電子楽器 100 YEARS

1920 テルミンの発明



1928 オンド・マルトノ登場



1937 HAMMOND NOVACHORD 世界初の減算方式シンセサイザー



1955 HAMMOND ORGAN B-3 加算合成音源の電子オルガン



1959 YAMAHA エレクトーンD-1 エレクトーン（電子オルガン）の1号機



1963 KORG DONCAMATIC 日本初のリズムボックス



1964 Buchla シンセサイザー



1965 Moog シンセサイザー



1970 ARP 2500



1973 Roland SH-1000 国産シンセサイザーの初の市販モデル



1976 Roland SYTEM-700 日本初のモジュラータイプのシンセサイザー



1980 Roland TR-808 世界初のプログラマブル・リズムマシン



1983 YAMAHA DX7 FM方式のデジタルシンセサイザー



1987 Roland D-50 PCMの音素片を積んだデジタルシンセサイザー



1988 KORG M1 デジタル・ワークステーション・モデル



1996 SC-88Pro "DTM"音源の上級モデル



2000～ 電子楽器は新たな時代へ



ボーカロイド

電子打楽器

MIDIオルゴール

国立科学博物館 産業技術史資料情報センター〈電子楽器の技術発展の系統化調査〉より引用
<http://sts.kahaku.go.jp>

▲ 12/6 東京藝術大学コンサート

▲ "電子楽器100年展" 展示

▲ 未来技術遺産

※ テルミン写真（提供：竹内正実氏/撮影：萩原ヤスオ氏）とオンド・マルトノ写真（提供：大矢素子氏/©Hirotda Onaka）は、発明当時のものではありません
 ※ プログラムの内容や展示品については予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

アクセス

国立科学博物館 上野本館

■JR「上野」駅（公園口）から徒歩5分

■東京メトロ銀座線・日比谷線

「上野」駅（7番出口）から徒歩10分

■京成線「京成上野」駅（正面口）から徒歩10分

※当館には駐車場および駐輪場はございません。

東京藝術大学 上野キャンパス

■JR「上野」駅（公園口）・「鶯谷」駅から徒歩10分

■東京メトロ銀座線・日比谷線

「上野」駅（7番出口）駅から徒歩15分

千代田線「根津」駅から徒歩10分

■京成線「京成上野」駅（正面口）から徒歩15分

国立科学博物館 〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL : 03-5777-8600（ハローダイヤル）

FAX : 03-5814-9899

<https://www.kahaku.go.jp/>



企画展 「電子楽器 100 年展」
THE CENTENNAIAL OF THE ELECTORONIC MUSICAL INSTRUMENTS
プレス内覧会のご案内

日時：2019 年 12 月 2 日（月）15:00～16:00（受付開始 14:30～）
会場：国立科学博物館 日本館 2 階講堂（東京・上野公園）

国立科学博物館では、本展の開催に先立ちまして、12 月 2 日（月）15:00 より、プレス内覧会を開催いたします。当日は、本展に携わる研究者による概要説明、そして企画展示やデモンストレーションをご体験頂くほか、音楽家 富田勲氏が音楽を制作した手塚眞氏監修によるアニメ作品を、宝塚市の協力により手塚治虫記念館以外で初めて上映いたします。

下記概要にて開催致しますので、ご多忙かとは存じますが、是非ともご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 2019（令和元）年 12 月 2 日（月）15:00～16:00（受付開始 14:30～）

【会 場】 国立科学博物館 日本館 2 階講堂（東京都台東区上野公園 7-20）

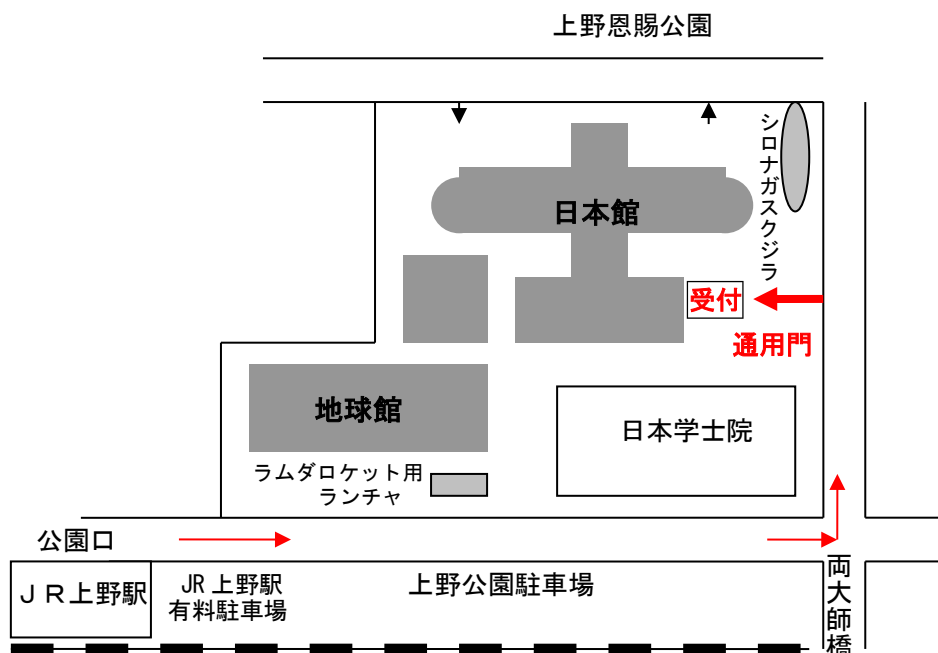
【受付場所】 国立科学博物館 事務棟入口 ※通用門からお入りください。

<交通のご案内> JR上野駅公園口から徒歩 5 分

東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分

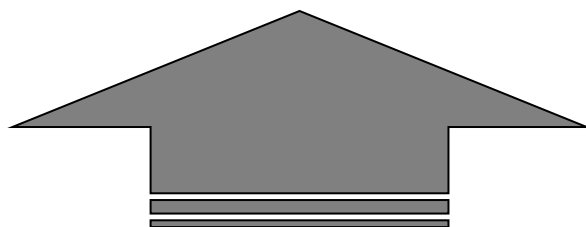
京成電鉄上野駅から徒歩 10 分

※駐車場の用意はございません。



当日のスケジュール

14 時 30 分～	受付開始（受付場所：事務棟入口 ※通用門からお入りください）
15 時 00 分～	日本館 2 階講堂 展覧会概要説明 国立科学博物館 産業技術史資料情報センター 主任調査員 北口二郎（きたぐちじろう）
15 時 10 分～15 時 30 分	日本館 2 階講堂 : 「オサムとムサシ」特別上映会観覧
15 時 30 分～16 時 00 分	会場を自由見学 ・ 日本館地下 1 階多目的室：企画展示「電子楽器の偉人たち」 ・ 日本館 1 階中央ホール : テーマ展示「セネステシア」体験 ※一部、写真等で撮影いただけないものがあります。
16 時 00 分	プレス内覧会終了



【 返 信 用 紙 】

F A X 番 号

< 0 3 - 5 8 1 4 - 9 8 9 9 >

企画展

「電子楽器 100 年展」

プレス内覧会 参加票

2019 年 12 月 2 日（月）15:00～16:00（受付開催 14:30～）

参加をご希望される方は、下記項目にご記入の上、11 月 29 日（金）までに

F A Xにてご返信いただければ幸いです。

お手数をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

□ご出席

貴社名 _____

貴メディア・所属部署名 _____

ご芳名 _____

連絡先

住所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

メールアドレス： _____

備考 _____

【企画展と開催イベントについて】

＜企画展 「電子楽器 100 年展」 について＞

1920 年にロシアのレフ・テルミン博士により発明された「テルミン」。世界初の電子楽器と言われるこの楽器が登場して 100 年の間に電子楽器は技術的な革新を重ねてきました。とりわけ我が国が世界的なリーダーシップの役割を果たし、電子楽器が単に技術的な進化だけでなく、芸術や文化に大きな影響を与えてきたことは明らかなです。

国立科学博物館では、テルミン発明から 100 年目にあたる 2020 年の直前に、展示やさまざまなイベントを通じて、電子楽器とそれが生み出した電子音楽を科学的かつ芸術的な視点で多角的に体験できる企画展「電子楽器 100 年展」を開催します。

なお、この企画展は、電子楽器の普及を目的とする公益財団法人かけはし芸術文化振興財団（山東昭子理事長）と共催、東京藝術大学音楽学部、一般社団法人全国楽器協会、一般社団法人音楽電子事業協会等の協力により、官民学が連携して実施いたします。

また国立科学博物館の本館内の 3 会場に加え、東京藝術大学の第 6 ホールを加えた 4 会場での開催もこの企画展の特徴です。

「電子楽器 100 年展」の見どころ

■「電子楽器の偉人たち」 12 月 3 日（火）～12 月 15 日（日）

世界初と言われる電子楽器の発明者レフ・テルミン博士。

電子楽器を積極的に作品に取り入れ音楽に新境地を切り開いた富田勲。

“INNOVATOR”と海外で称され電子楽器の開発に生涯を捧げた梯郁太郎。

電子楽器の偉人たちのヒストリーとその功績を数々の展示品で知ることが出来ます。

＜写真＞

レフ・テルミン、富田勲、梯郁太郎



レフ・テルミン博士
(1896-1993)



富田 勲
(1932-2016)



梯 郁太郎
(1930-2017)

■「電子楽器テーマ展示 “セネステシア”」 12月3日（火）～8日（日）

テーマ展示となる中央ホールでは、大理石に囲まれた吹き抜けの空間で、音と映像と光による電子楽器の創造性を体感（セネステシア）することが出来ます。

富田勲が精力的に取り組んだサウンド効果をともなうシンセサイザーによる名作の数々を、音と映像で体感することや、ボーカロイドをはじめとする最新のユニークな電子楽器の技術をこどもから大人まで体感出来る特別なデモ・ステージです。



テーマ展示“セネステシア”

■「電子楽器プレシャス・コンサート」12月6日（金）

木質の音響空間が特徴の東京藝術大学 第6ホール。この珍しい会場で貴重な電子音楽ライブが披露されます。

東京藝術大学の演奏者たちによる電子音楽、そして国内のテルミン奏者（テルミニスト）の第一人者である竹内正実らによるテルミン・アンサンブル。シンセサイザーの元祖と言われる貴重な楽器「オンド・マルトノ」のスペシャリスト大矢素子による演奏で楽しんでいただきます。

また東京藝術大学秘蔵の世界的にも珍しいモジュラー・シンセサイザーの数々の展示も電子楽器ファンには必見です。



竹内正実



Mable and Da



大矢素子



東京藝術大学所蔵の Buchla シンセサイザー

■「電子楽器のセミナー」12月7日（土）/8日（日）/15日（日）

■「オサムとムサシ」上映会、スペシャル・トークセッション12月14日（土）

国立科学博物館日本館2階講堂では、珍しい電子楽器の体験セミナーなど、多彩な参加型イベントを毎週末に開催いたします。

宝塚市と手塚プロダクションの協力により、宝塚市立手塚治虫記念館でしか観ることのできない名作アニメ「オサムとムサシ」（12月14日）の上映を行います。手塚眞監修による約18分のこのアニメーションは、富田勲によるオーケストラ・ハーモニーが見事にシンクロした貴重なコラボ作品を国立科学博物館での1日限りの特別な上映会（全5回）です。また5回のうち最終の上映会のあとに開催する、音楽家の千住明、生物学者の福岡伸一、そしてビジュアリスト手塚眞の3人によるスペシャルなトークセッションは見ものです。

こどもたちが楽しめるプログラム、マトリョーシカ型テルミンの体験セミナー（同7日）や、最新音楽の定番アナログ・シンセサイザーが誰でも組み立てられる「littleBits（リトルビッツ）」のワークショップ（同8日）。

またシンセサイザーの元祖といわれ、数々のオーケストラ作品にも使用される「オンド・マルトノ」セミナー（同8日）や、4人目のYMOと呼ばれ様々なジャンルの音楽を手掛けてきたシンセサイザーの大御所である松武秀樹によるトークセミナー（同15日）、そして本格的な電子楽器愛好家には最新のMIDI 2.0の情報が得られる「MIDIの現在と未来がわかるセミナー」（同15日）も必見です。

こどもからマニアまでを対象としたバラエティに富んだ日替わりメニューを2週間の毎週末にご用意しています（すべて事前申込制）。



アニメ「オサムとムサシ」



千住 明



手塚 眞



福岡 伸一



松武 秀樹

<開催イベントの詳細・参加方法について>

1, 電子楽器プレシャス・コンサート

世界で初めての電子楽器と言われているテルミン、シンセサイザーの起源と言われるオンド・マルトノ、歴史的にも重要な電子楽器や東京藝術大学学生による最新の電子音楽コンサート。藝大秘蔵のシンセサイザー開発初期の貴重なモジュラー・シンセサイザーも展示。

○日時：12月6日（金）、17時45分開場 18時30分～20時30分

○会場：東京藝術大学 上野学舎 第6ホール

○演奏：【1部】東京藝術大学 後藤 英（音楽環境創造科准教授）、満 潔（音楽音響創造博士課程）、
顧 昊倫（音楽音響創造修士課程）、鈴木俊哉（リコーダー）

【2部】竹内正実（テルミン）、Mable and Da（マトリョミン・アンサンブル）

大矢素子（オンド・マルトノ） 安田結衣子（ピアノ）

○定員（対象）：150名（小学生以上（小学生は保護者同伴））

○申込：HPで受付（11月20日（水）より 定員になり次第締め切り）

○参加費：無料。但し事前申込の上、入場の際に、受付で以下の①もしくは②をご提示ください。

①Webで事前申込み完了の返信メールをプリントアウトしたもの

②Webで事前申込み完了の返信メールのスマホ画面

2, ふしぎな楽器「テルミン」こども体験セミナー

世界で初めての電子楽器といわれているテルミン（マトリョーシカ型）を体験しよう

○日時：12月7日（土）：第1回目 14時00分～15時00分（13時30分開場）

12月7日（土）：第2回目 16時00分～17時00分（15時30分開場）

○会場：国立科学博物館 日本館 2階講堂

○講師：テルミニスト 竹内正実他

○定員（対象）：各回小学生 25名

※但し小学生一人参加に付き保護者1名が必ず同伴

○申込：HPで受付（11月20日（水）より 定員になり次第締め切り）

○参加費：常設展示入館料（一般・大学生は630円、高校生以下・65歳以上無料）で参加可能

3, 「オンド・マルトノ」がわかるセミナー

シンセサイザーの元祖とも言われるオンド・マルトノを知る、学ぶセミナー

○日時：12月8日（日）、12時30分開場 13時00分～14時00分

○会場：国立科学博物館 日本館 2階講堂

○講師：オンド・マルトノ奏者 大矢素子

○定員（対象）：100名（小学生以上（小学生は保護者同伴））

○申込：HPで受付（11月20日（水）より 定員になり次第締め切り）

○参加費：常設展示入館料（一般・大学生は630円、高校生以下・65歳以上無料）で参加可能

4, 「シンセサイザーで音をつくってみよう」ワークショップ

新しい電子工作キット littleBits を使って、音をつくってみよう

○日時：12月8日（日）、14時45分開場 15時00分～16時30分

○会場：国立科学博物館 日本館 2階講堂

○協力：littleBits × KORG

○定員（対象）：小学生 20名（小学3年生以上）

※但し小学生一人参加に付き保護者1名が必ず同伴

○申込：HPで受付（11月20日（水）より 定員になり次第締め切り）

○参加費：常設展示入館料（一般・大学生は630円、高校生以下・65歳以上無料）で参加可能

5、「オサムとムサシ」上映会

宝塚市の手塚治虫記念館でしか観られない「オサムとムサシ」

手塚プロダクションと音楽家 富田勲コラボによるアニメ作品の1日限りの上映会

○日時：12月14日（土）：第1回目 10時00分開場 10時30分上映

12月14日（土）：第2回目 12時00分開場 12時30分上映

12月14日（土）：第3回目 14時00分開場 14時30分上映

12月14日（土）：第4回目 16時00分開場 16時30分上映

（各回完全入れ替え制、上映時間は約分）

○会場：国立科学博物館 日本館2階講堂

○定員（対象）：各回150名（小学生以上（小学生は保護者同伴））

○申込：HPで受付（11月20日（水）より 定員になり次第締め切り）

※ 最大2名様のお申込が可能

○参加費：常設展示入館料（一般・大学生は630円、高校生以下・65歳以上無料）で参加可能

6、「オサムとムサシ」スペシャル・トークセッション

手塚プロダクションと音楽家 富田勲コラボによる「オサムとムサシ」

3人のスペシャリストがこの名作について語る特別プログラム

○日時：12月14日（土）、17時30分開場 18時00分開演 （アニメ上映を含む約90分間）

○会場：国立科学博物館 日本館2階講堂

○出演者：千住明（音楽家）、手塚眞（ビジュアルリスト）、福岡伸一（生物学者）

○定員（対象）：各回150名（小学生以上（小学生は保護者同伴））

○申込：HPで受付（11月20日（水）より 定員になり次第締め切り）

※ 最大2名様のお申込が可能

○参加費：常設展示入館料（一般・大学生は630円、高校生以下・65歳以上無料）で参加可能

7、電子楽器セミナー Part.1

「松武秀樹のシンセサイザー・ストーリー」

4人目のYMOと呼ばれたシンセサイザーの第一人者、松武秀樹が語るシンセサイザー

○日時：12月15日（日）、13時00分開場 13時30分開演 （約60分間を予定）

○会場：国立科学博物館 日本館2階講堂

○講師：松武秀樹 （進行：国立科学博物館 産業技術史資料情報センター 北口二郎）

○定員（対象）：100名（中学生以上）

電子楽器セミナー Part.2

「MIDIの現在と未来がわかるセミナー」

1983年に提唱された「MIDI規格」が36年ぶりにアップデート。現在のMIDIの最前線や、最新の「MIDI 2.0」を専門のエンジニアが音と映像で詳しく解説

○日時：12月15日（日）、15時00分 開始 （約90分間を予定）

○会場：国立科学博物館 日本館2階講堂

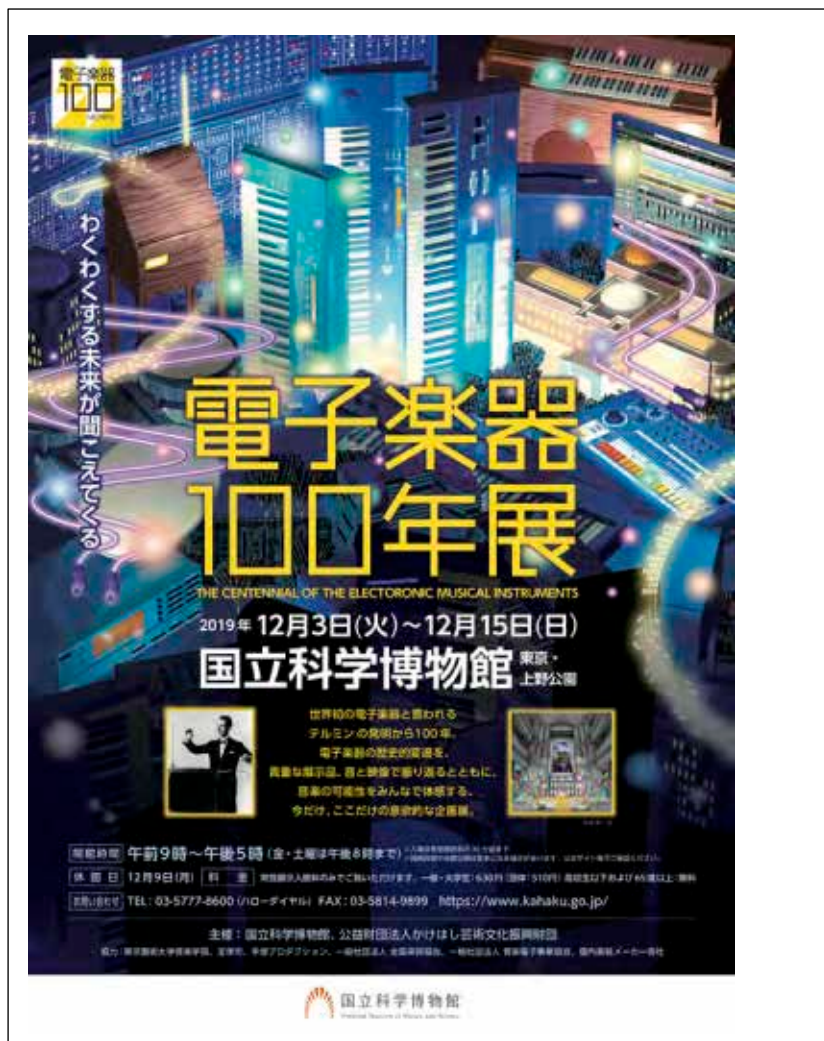
○講師：一般社団法人 音楽電子事業協会 MIDI企画委員会

○定員（対象）：100名（中学生以上）

○申込：HPで受付（11月20日（水）より 定員になり次第締め切り）

Part.1のみ受講／Part.2のみ受講／両方受講、を選択可能

○参加費：常設展示入館料（一般・大学生は630円、高校生以下・65歳以上無料）で参加可能



<公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団について（共催者）>

1994 年（平成 6 年）9 月 19 日に財団法人ローランド芸術文化振興財団として設立。創設者である梯 郁太郎（ローランド株式会社創業者）の出捐した株式を基本財産に「電子技術を応用した芸術文化の振興と普及」を主たる目的として活動を開始し、様々な事業活動を通じて教育や音楽芸術の分野で実績を積む。2011 年 4 月 1 日、公益財団法人へ移行後は、より多くの方々の利益の増進に寄与することを目的とし、公益事業に積極的に取り組む。2015 年 2 月には、日本はもとより世界の人たちに夢と希望を与える芸術文化の「かけはし」になりたいとの思いから財団名を「かけはし芸術文化振興財団」と改め、名誉顧問に梯 郁太郎・理事長に山東昭子の新体制のもと、創造性溢れる豊かな社会の実現を願い、一層充実した事業活動に努めている。

<公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団 基本情報>

■設立の目的

電子技術を応用した芸術文化の振興と普及を図るために、芸術文化に関する事業を行い、我が国芸術文化の発展に寄与することを目的としています。

■財団概要

設立日 1994 年（平成 6 年）9 月 19 日
 行政庁 内閣府
 基本財産 43 億 4 千万円（平成 31 年 3 月末現在）
 所在地 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-14-3 Angels Garden 1 階
 TEL：03-6205-6915／FAX：03-6205-6916
 理事長 山東昭子

※ 当財団に関する問い合わせ：事務局長 吉田 茂 03-6205-6915 s-yoshida@kakehashi-foundation.jp